

# トータルケアNEWS

4 0 2 0 0 9 . 1 2 . 2 8

発行 社会福祉法人 秋田県社会福祉協議会  
〒010-0922 秋田市旭北栄町 1-5  
TEL 018-864-2711 FAX 018-864-2701  
URL <http://www.akitakenshakyo.or.jp/>  
E-mail [chiiki@akitakenshakyo.or.jp](mailto:chiiki@akitakenshakyo.or.jp)

## CONTENTS

1. 氷見市地域福祉実践検証セミナー  
... 1 ~ 4
2. 北秋田市社協のトータルケア推進  
事業について ... 5
3. 秋田県コミュニティソーシャルワーク  
実践研究会設立 ... 6

## 1 . 氷見市地域福祉実践検証セミナー

秋田県社会福祉協議会地域福祉部主査 横山 泰

11月22日(日)・23日(月)の両日、社会福祉法人 氷見市社会福祉協議会、特定非営利活動法人 日本地域福祉研究所、日本地域福祉学会東海北陸地方部会主催による「氷見市地域福祉実践検証セミナー」が富山県氷見市において開催された。

富山県内外より約200名の参加があり、東海北陸地方の地域福祉への意気込みを肌で感じ学んできた。

はじめに日本地域福祉研究所 大橋謙策理事長より「氷見市社協実践検証への導き」と題し、大橋先生の氷見市社協との関わりの歴史や「長野県茅野市」等全国各地の実践事例、国における社会福祉の変遷、「課題を抱えている方をどう地域と関わらせ、ないものはサービス開発をする」といういわゆるコミュニティソーシャルワークの持つべき意味や、「生活場面面接」ニーズキャッチの大切さ、プログラム評価、業務分析がいかに大事かなど、この「実践検証セミナー」を行う意義についてお話をいただいた。



鼎談の様子

(左から 伊賀市社協平井局長・  
全社協渋谷部長・氷見市社協中尾局長)

## 氷見市社会福祉協議会の実践

### 氷見市の概要

氷見市は、富山県の西北、能登半島の東側に付け根部分に位置しています。市の面積は約230平方キロメートルで海岸線に位置する市街地を中心に、手のひらのようにいくつもの谷間に沿って集落が点在し、これが農村地域を形成している。

人口は54,084人、高齢化率は29%（65歳以上15,738人）その内1人暮らし高齢者は885人で全体の8%となっている。

### 氷見市社協における地区社協の発展と社協職員の動き

氷見市社協は昭和60年から地域福祉座談会を全地区で行い、住民福祉講座、更には地区社協の手引きを配布し、住民から福祉の理解を得ながら計画的に21地区社協を立ち上げてきた。

それと並行して国の「地域福祉活動推進モデル事業」を受け、地域特性に応じた福祉活動を模索し、活動のノウハウを他の活動に活かし、活動から新たな活動が生まれることを実践し、いわゆる集合型の地域福祉活動から地域ニーズに対応する個別の対応に移行し、地区社協と共に展開をしてきたとのことだった。

その中から氷見市社協の職員として、新規事業の説明は地域に出向いて行うこと、また、関心ある地域から全地域に拡大することを常に意識してきたとのことであった。

### 氷見市社協の個別支援体制の発展と住民と共に進める個別支援

平成2年から「生活支援地域福祉活動推進モデル事業」を受けたことにより、ケースワークの大切さを痛感し、「地域福祉総合相談所」の開設をすることにより、地域住民に対し窓口を明確化し、たらい回しにしないことで安心感を与えてきたとのことであった。（NOと言わない社協）

様々な在宅福祉サービス（入浴サービス、ホームヘルプサービス等）を取り入れながら、ケアマネジメントの機能の強化を目指し、他機関との連携を強め、「福祉・保健・医療関係者のつどい」「ケアマネージャー研究会」等を立ち上げてきた。

そのような背景から更なる個別支援システムの確立を目指し、「住民と進める個別支援」、ケアネット活動を平成15年から取り組んできた。



シンポジウム  
コーディネーター  
日本福祉大学 原田先生  
コメンテーター  
伊賀市社協 平井事務局長

## 氷見市社協が進めるケアネット活動

近隣住民の協力や見守り活動により地域住民が住みなれた地域で安心してもらうための地域住民による活動

### ケアネット活動の目的

- ・地域住民の関係希薄化の防止
- ・孤独、孤立住民の発生防止・誰もが住みなれた地域で生活できる地域づくり
- ・個別のニーズを把握し、地域ニーズへと意識していくための具体的なシステムの確立

### ケアネット活動の内容

地域住民がそれぞれのできる範囲で個別支援を行う。

- ・見守り ・声かけ ・ゴミ分別 ・各種当番の支援 ・趣味の付き合い
- ・雪かき ・散歩の付添 ... e t c

### 専門職の役割

#### 【社協職員】

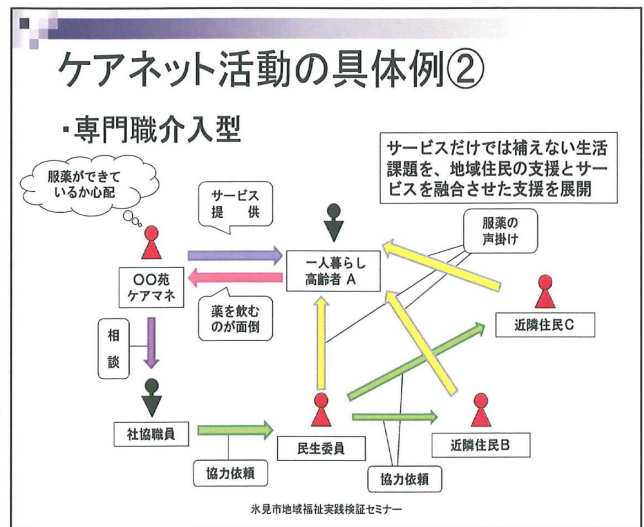
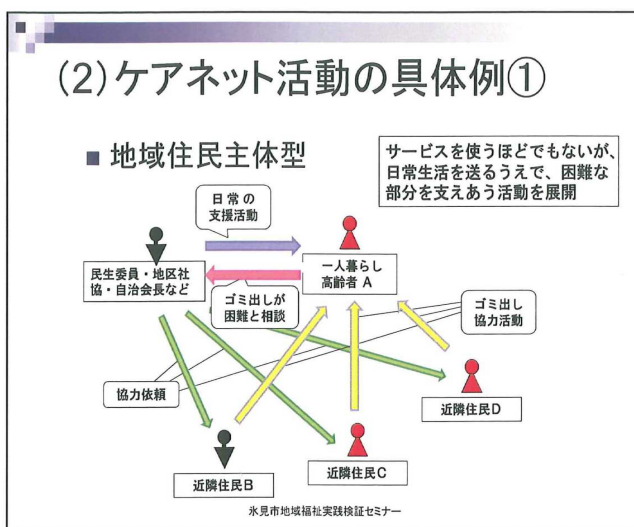
- ・個別だけでなく世帯を含めたケースワーク
- ・個人、専門職、地域をつなげるコーディネート
- ・個人のサービスを地域のニーズとし、地域の新たな活動やサービス開発につなげる

#### 【ケアマネなど専門職関係機関】

- ・地域住民を後ろから支え、地域住民が安心して活動できる環境づくり
- ・会議などによる定期的な情報共有の場作り

### 地域住民の役割

- ・要支援者の情報を把握する
- ・要支援者の状態に合わせ協力員ができる活動を行う
- ・必要に応じて専門職につなげる



平成20年度ネット形成数 509 ネット  
住民主体型 7割 専門職介入型 3割

## コミュニティソーシャルワークを展開するための組織体制と職員育成

コミュニティソーシャルワークを意識した取り組みとして平成6年度から地域担当制を導入、平成19年度からは地域エリア担当制変更し、地域アセスメントの視点から、個別支援同様な捉え方で地域を見て、把握しより良いメニュー開発やネットワーク形成に役立ててきたとのことであった。

地域エリア担当制に切り替えたことにより、広い視野の獲得と担当業務への反映を行い、チームアプローチの大切さと職員の負担軽減を行うことにより、職員間の連携強化につながったと分析をしていた。

また、研修の充実も重点に置いており、他市町村の社協職員の受け入れや社会福祉士養成実習の受け入れなどを積極的に行い、意図的に職員を参加させ、また職員の資質向上（プレゼン能力向上等）や普段入りにくい地域と一緒に入り込む手段としても活用するなど、学ぶべき点が多かった。



氷見市社協実践紹介（奥から）

ボランティア総合センター	山田所長
老人福祉センター	山崎施設長
地域福祉部	森脇部長

### 氷見市地域福祉実践検証セミナーに参加して

氷見市社協の個別支援に対する熱意と地域に対する思いやりが事業に反映されている点や、行政との協働も氷見市社協の大きな特徴となっているように感じてきた。

制度の狭間にある困りごとを抱えた地域の方々をいかに支援し、ないものは自



第2日目 第1分科会の様子

分たちで解決しようとする取り組みなど、新しい地域福祉を作り上げ、住民に信頼される今日の氷見市社協が構築されたと思うとともに、このセミナーの参加させていただき、私自身にとっても秋田県における地域福祉を進める上で大変参考になりました。

## 2. トータルケアを契機に地域福祉推進体制を強化

### 北秋田市社協のトータルケア推進事業について

平成17年3月に市町村合併を終え、旧鷹巣町、旧森吉町、旧阿仁町、旧合川町の4か所に支所を設け地域福祉事業を推進してきた北秋田市社協であるが、今年度から事業全体の見直しを行い、支所ごとに作成していたパンフレットも統一し、どの支所でもどのような相談も受け付けるよう相談体制を強化した。

また11月には地域担当責任者を中心に市内の全家庭をこのパンフレットを持参し、丁寧に回り「全戸訪問活動実態調査」を行った。この調査を基に地域の要望や課題について掘り起こしを行い、今後の事業展開に活かしていこうと現在調査集計中である。

同一市内に住んでいる住民が、どの地域でも同じサービスを受けられるということとは、「安心感」や社協に対する「信頼感」につながることである。

北秋田市社会福祉協議会はトータルケア事業を契機に地域福祉の更なる推進を図ろうとしている。

### 北秋田市社会福祉協議会 平成20年度パンフレット

**地域福祉事業**  
社会福祉協議会は地域住民参加のもと共に生きるまちづくりに取り組んでいます。

※各事業には対象者の範囲がありますのでお気軽におたずね下さい。  
※地域福祉の事業は皆種から寄せられた社協会費、寄付金、共同募金配分金を活用して行われています。

**地域住民**

**関係機関**

**地域の子育て支援**  
・児童館等  
・子育てサポートハウスむんぼく(一時預かり、病後ケア等)  
・もちのこども園(こども等の障害・発達にも配慮のあまお子さんを対象とした貸借サービス)

**福祉教育活動の推進**  
介護疑似体験、出前講座、サポートハウス宿泊体験、施設見学等お申し込み下さい。  
(サマーショートボランティア)  
(ボランティアスクール)

**配食サービス**  
調理が困難な方へ365日夕食のお弁当をお届けします。

**ほほえみ祝会事業**  
お子さんが生まれたお宅に民生委員児童委員さん、自治会長さんのご協力によりお届けします。

**介護予防教室・介護教室**  
お元気なうちに、介護保険等について正しい知識を持ち、自分が望む生活を送りましょう。各地域に出向いて開催します。

**外出支援サービス**  
車イス等での外出の際にリフト車でお送りします。病院や買い物等に利用できます。

**住み慣れた地域で生活できるよう支援いたします。**

**福祉の専門家**  
一人暮らし高齢者、高齢者世帯を対象に暮らし、世帯暮らし作業の手配をします。

**自治会長 町内会長**

**訪問介護員2級課程養成研修**  
介護の仕事につきたい方、介護の知識・技術を取得したい方は、研修を受講することによって資格を取得することができます。

**あんしん電話の設置**  
方が一に備えて、緊急通報装置を設置することによって安心して生活することが出来ます。

**家族介護用品支給事業**  
在宅で介護を受けている方に補助金等の支給が行われます。

**心配ごと相談所**  
一人で悩まずご相談下さい  
毎月15日～金曜日 午前10時～午後3時  
までお電話下さい。TEL.62-6868  
(開催場所休日に合わせて変わります。)  
・無料法律相談の開催

**赤い羽根共同募金運動**  
(実施期間10月1日～12月31日)  
集まったお金は地域福祉事業に使われます。

**福祉だよりの発行**  
福祉に関する情報を発信します。子供から障がい者、高齢者まで福祉活動への参加を促進します。

**ボランティア活動への支援**  
地域でボランティア活動を「やりたい人」「必要としている人」の相談窓口として各地域にボランティアセンターを設置しています。

**各福祉団体への活動支援**  
老人クラブ連合会 手をつなぐ育成会  
身体障害者協会 在宅介護者の会  
遺族連合会 活きいき友の会  
母子・寡婦福祉会 ボランティア団体・個人

**いきいきサロン**  
社会参加を促し、孤立しない生活を目指しています。  
ネットワーク活動とは生活・福祉のことなどで困っている家庭が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるように近隣住民と共に協働して支え、いく住民たすけあい活動です。

**住民参加の福祉活動を促進します。**

**民生委員 児童委員**

**ネットワークを生かして福祉課題や問題の解決につなげます。**

**災害時要援護者支援ネットワーク**  
行政・自治会・民生委員児童委員、関係機関と連携しながら一人の犠牲者も出さない運動を進めていきます。

### 3. 秋田県コミュニティソーシャルワーク実践研究会設立

#### 設立主旨

本県ではコミュニティソーシャルワーク実践者の養成を目的に「コミュニティソーシャルワーク養成研修会」が実施されており、平成17年度からの4年間で約90名が当研修会を終了しています。

しかしながら、研修修了者(以下「CSW」)が各地域において実践を展開していくにあたり、継続的な研鑽の場の減少などに伴い悩みや課題が解消されないまま積み重なり、しだいに実践へのモチベーションが低下する傾向が見られます。

そこで、県内のCSWがつながりあい、主体的に研鑽を図ることを目的に「秋田県コミュニティソーシャルワーク実践研修会」を設立し、継続的な研修や情報交流を通して実践上の課題や悩み、その対応策や必要な情報などを共有しあうことによって、自らのスキルと実践に対するモチベーションの向上を図ります。

#### 主な内容

コミュニティソーシャルワーク実践に関する学習会  
日ごろの実践に対する想いを語る情報交流  
その他、実践に関する必要な事業

入会方法 各市町村社協郵送される「入会申込書」に必要事項を記入の上、事務局に郵送してください。

会費 年3,000円(3月予定設立総会時に受付にて納入願います)

入会対象者 「コミュニティソーシャルワーク養成研修」修了者及び趣旨に賛同する方

申込期日 平成22年2月1日(月)(設立時以降の入会は随時)

問合せ・申込 秋田県コミュニティソーシャルワーク実践研究会事務局  
社会福祉法人秋田県社会福祉協議会 地域福祉部・ボランティア振興担当  
〒010-0922 秋田市旭北栄町1-5 秋田県社会福祉会館2階  
TEL018-864-2714 FAX018-864-2702

#### 平成21年度地域福祉・元気ムラセミナー ～秋田の農山村集落の福祉と元気ムラづくりを考える～

過疎化・高齢化が進む農山村集落における現状と課題やこれからの地域の自立と活性化に向けた取り組みなどについて考える。

主催 社会福祉法人秋田県社会福祉協議会  
秋田県高齢化等集落対策協議会

日時 平成22年1月25日(月)

会場 秋田県庁第二庁舎8階大会議室

テーマ 「秋田の農山村集落の福祉と  
元気ムラづくりを考える」

対象 社協役職員、集落代表者、民生委員  
行政関係職員等

参加費 無料

定員 150名～200名程度

申込先 秋田県社協地域福祉部 018-864-2714

#### 住民と協働する個別支援ワーカー (地域福祉コーディネーター)研修会開催

専門職に求められる機能のうち、「住民との協働による支援ニーズの発見・分析・共有」に焦点を当て、求められる視点や行動のあり方などを学びます。

主催 全国社会福祉協議会

日時 平成22年2月4日(木)  
10:00～16:30

会場 朱鷺メッセ「スノーホール」  
新潟県新潟市中央区万代島6-1

対象 コミュニティーソーシャルワーカー  
コミュニティワーカー等

参加費 2,000円

定員 100名

申込先 全社協地域福祉部